

広川 智基 | 雪に浮かぶ Tomoki Hirokawa “Floating in the Snow”

2025年8月6日(水)ー9月13日(土)

会場：ギャラリー・アートアンリミテッド

住所：107-0062 東京都港区南青山1-26-4 六本木ダイヤビル3F

OPEN：13:00-18:30 / CLOSED：日・火・祝 *夏季休廊：8月10日(日)ー17日(日)

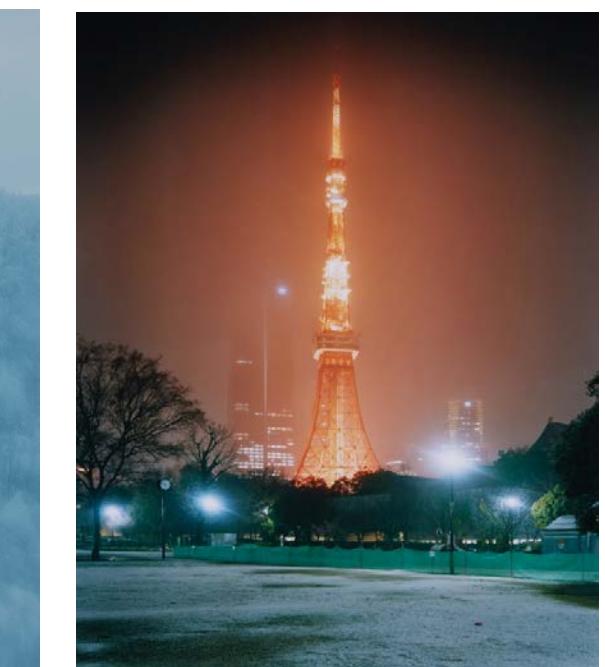
www.artunlimited.co.jp/current/

TV番組のポートレート撮影、ファッショニ、CDジャケット、建築写真など幅広い分野のコマーシャルワークで活躍する写真家・広川智基。一方で自身の作品は主にフィルムで撮影し、暗室でのプリントまで一貫して自ら手がけている。本展では、最新写真集の発行に合わせ、東北で撮影を続ける表題作《雪に浮かぶ》と、ライフワークとして生まれ育った東京をテーマにした《TOKYO BORDER》を特集展示します。ぜひご高覧ください。

広川智基の視点

写真家・広川智基は何を見ているのか。通常、目から入る情報は脳の中で意識と繋がって対象のあるところに興味を抱き、それを「見ている」と認識するが、それ以外の風景のほとんどは無意識に受け流される。情報として画像が脳に入っても意識にのぼらない部分がほとんどだ。今回の個展では樹氷を撮った「雪に浮かぶ」と、都会の夜を撮った「Tokyo Border」という2つのシリーズが並ぶ。樹氷の風景は、この場面に遭遇した人の多くが意識にのぼり、広川も美しい写真として浮かび上がらせることを想定しているように見える。それに対して夜の風景は、ふつう無意識の中に入って気づかないほどの世界だが、そこから広川は独特な空気を見出し、写真というメディアに抽出している。この2つのシリーズを見ても広川の視点が限定されたものではなく、常に風景から受ける感覚に素直に反応していることがわかる。つまり広川智基は型をつくらないから、常に自由である。ゆえに広川智基が今何を見て、これからどこに向かうのか。それが楽しみである。

グラフィックデザイナー 佐藤 卓



Statement

雪に浮かぶ／TOKYO BORDER

吹雪の中、白く膨れながら静かに成長していく樹氷。森に立ち尽くすその姿は、息づかいが聞こえてくるようで、今にも動き出しそうだった。2012年の冬、秋田・森吉山で初めてその風景に出会った時、雪と霧の中にぼんやりと浮かび上がる樹氷の群れを見て、私は生物のようだと感じた。それ以来、寒波や荒天を選び、東北の山々を訪れては、美しく静かに変わり続ける樹々のかたちを写してきた。

一方普段は、生まれ育ってきた東京の夜の街を25年以上写してきた。人が行き交う場所も、夜になると特別に感じる場所があると気付き、車にカメラを積み、夜の街を巡ってきた。昼間の喧騒が過ぎ去った後に立ち上がる空気の中には、そこに生きてきた人々の記憶、土地そのものの匂いや気配がある。そんなふと浮かび上がる“狭間”のような空間を感じては、切り取ってきた。

「雪に浮かぶ」で撮影した自然の山も、「TOKYO BORDER」で撮影した都市の街も、それぞれが独自の時間と呼吸を持ち、生きている。その中に身を置くことで、人もまた風景の一部であり、確かにそこにいるということを実感する。

広川 智基

新刊写真集



広川 智基 『雪に浮かぶ』

製本：ソフトカバー

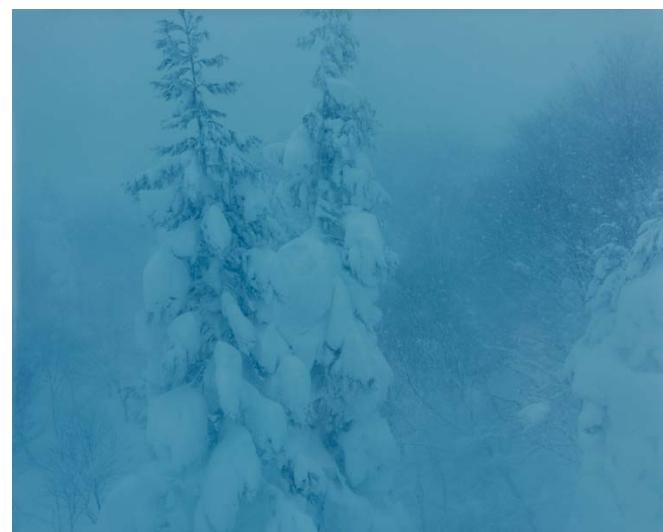
サイズ：182×252mm

▶ [当社オンラインショップで販売中！！](#)

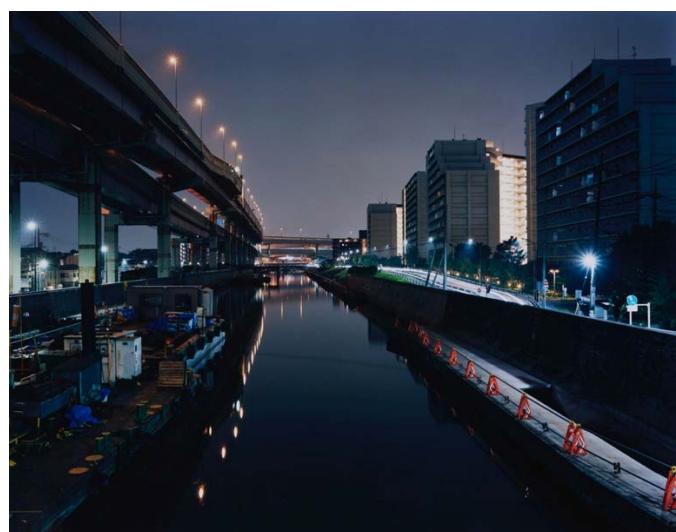
ページ：48p

発行年：2025

価格：¥4,400（税込）



3



4

1979年、東京都生まれ。2001年、日本写真芸術専門学校II部卒業。2002年、和光大学芸術学科卒業。

ポートレート撮影をはじめ、ファッショニ、CDジャケット、建築など、幅広い分野でコマーシャルワークを行う一方、自身の作品制作も主にフィルムを用いて精力的に行っている。近年の主な作品に、東北の樹氷を青く煌めく美しい画面に捉えた《雪に浮かぶ》、生まれ育った東京を独自の視点で切り取った《TOKYO BORDER》、雨に濡れた公園の木々を、艶やかに描写した《密雨》、コロナ禍から着想を得て、何気ない日常を初のスナップ写真で構成した《忘れてもよいこと》などがある。

<個展>

- 2002年 「Be Aware」 Gallery LE DECO、東京
2002年 「Globe Trotter」 PARCO MUSEUM wall gallery、東京
2007年 東京大学創立130周年記念事業「本郷零時3分展」東京大学本郷キャンパス、東京
2018年 「密雨」 book obscura、東京
2021年 「忘れてもよいこと-代々木八幡での話」 RHYTHM PRIMARY MARKET、東京
2022年 「Pink Garden -密雨<mitsu>より」 iino naho sendagaya gallery、東京
2023年 「TOKYO BORDER」 SLOPE GALLERY、東京

<グループ展>

- 2008-2019年 第3回～第10回「Gelatin Silver Session -Save The Film」 AXIS ギャラリー、東京
2009年 「I LOVE FILM by LOMOGRAPHY」 AXIS ギャラリー、東京
2010年 「ALBUM EXPO」 HEP HALL、東京
2012-2014年 「AKITEN アートフェスティバル」、東京
2016年 「Gelatin Silver Session -Save The Film 巡回展」入江泰吉記念奈良市写真美術館、奈良

作品タイトル（制作年） *作品は全て Type C print | All Photos by © Tomoki Hirokawa, Courtesy of gallery ART UNLIMITED.

1. Mt. Hakkōda, Aomori Prefecture, Japan. (2017) 3. Mt. Moriyoshi, Akita Prefecture Japan. (2013)
2. Shiba Park, Minato-ku, Tokyo Japan. (2025) 4. Nishi Ayase, Adachi-ku, Tokyo Japan. (2023)

Contact | <プレスの皆様へ> 画像の用意がございます。展覧会情報を紹介いただける際は下記までご連絡ください

ギャラリー・アートアンリミテッド／担当：高砂・瀬野 staff@artunlimited.co.jp

〒107-0062 港区南青山 1-26-4 六本木ダイヤビル 3F | tel:03-6805-5280 | www.artunlimited.co.jp